



2026 年度 総合型選抜 A 日程(専願制) 入学試験問題

小論文

(60 分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子は開かないでください。
2. この問題は 1 ページです。問題・解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

2026 年度 総合型選抜 A 日程（専願制） 入学試験問題

小論文（60 分）

日本では毎年、およそ 464 万トンもの食品が捨てられていると推計されています（環境省・我が国の食品ロスの発生量の推計値（令和 5 年度））。国民一人あたりに換算すると、年間で約 37 キログラムの食品を捨てている計算になります。食品ロスは家庭や飲食店だけでなく、学校給食でも日常的に発生しています。給食の「残食量（食べ残しの量）」や「残食率」は各自治体や学校で調査され、平均すると 6.9%から 9.1%程度と報告されています。食べ残しが出る理由としては、「嫌いな食べ物がある」「量が多すぎる」「給食時間が短い」などが挙げられます。残食を減らすため、学校では献立を工夫したり、食べきり運動を行ったりしています。教育委員会も、助言や参考となる献立を示すなどして取り組みを支援しています。

この問題の解決のために、管理栄養士の役割について、どのようなことが考えられるか、自身の意見を述べよ。

(400～600 字)